



Photo by Kanazawa City

国際シンポジウム

木質構造物の 未来と可能性

2019年3月8日（金）13:00～17:00
岡山大学創立五十周年記念館 金光ホール

裏面にて申込

- 開会挨拶
岡山大学 理事・副学長 佐野 寛
- 講演Ⅰ
「Opportunities and Challenges for Tall Wood Buildings」
ブリティッシュコロンビア大学、フランク・ラム教授
- 講演Ⅱ
「The most advanced research activities and future prospects of CLT in Europe」
グラーツ工科大学、ゲルハルト・シックホーファー教授
- 講演Ⅲ
「都市木造の展開 - 森と都市の共生 -」
東京大学、腰原幹雄教授
- 講演Ⅳ
「人と木が変えていく日本の景色」
銘建工業、中島浩一郎代表取締役
銘建工業、瀬崎景己
- パネルディスカッション



当日は写真撮影をして主催者および共催者の広報に使用することがあります。撮影を希望されない場合はあらかじめご連絡ください。

◆お問い合わせ◆

岡山大学地域総合研究センター 担当：吉川 TEL.(086)251-8987または251-8468/info-agera@okayama-u.ac.jp

主催◆岡山大学地域総合研究センター・岡山大学大学院環境生命科学研究所

協賛◆岡山林業人材育成検討会・日本CLT協会

後援◆岡山経済同友会（予定）

国際シンポジウム

木質構造物の未来と可能性



- I・木質構造物の将来性と市場的可能性
- II・木質構造物の技術的可能性と最先端研究の課題
- III・木質構造物を扱う技術者教育の課題、実践型社会連携教育の提案

2019年3月8日（金）13:00～17:00

岡山大学創立五十周年記念館
金光ホール



UBC（カナダ）18階建ての学生寮（日本経済新聞HPより）

岡山大学は、課題解決能力（実践知）の卓越した人材を育成する実践型社会連携教育の一環として岡山大学生をカナダ国ブリティッシュコロンビア大学の学生と共に、岡山県内の林業・林産業の企業・団体に派遣するグローバルインターンシップを実施しています。

林業・林産業のさらなる育成は日本の豊かな森林資源を有効に利用するため欠かせません。特に、これまでにない意匠性を持った建築物を可能にするとして注目を浴びている直交集成板（CLT）の利用拡大は木を生かした居住空間の充実に繋がりますが、その将来を担う実務者および研究人材が求められています。

CLTの研究開発の世界的研究者、日本の代表的な木質構造研究者をお招きしました。

【お申込み】 締切 2019年3月4日（月） ※本紙をそのままFAX用紙としてお使いいただけます。

締切を過ぎても参加できます。大まかな人数把握のため事前申込にご協力ください。

FAX 086-251-8468 **岡山大学地域総合研究センター 行**

MAIL info-agora@okayama-u.ac.jp

氏名	所属・役職

いただいた個人情報は、本シンポジウムおよび主催者の事業活動のみに使用いたします。